

東京石桜同窓会のつどい

（付 21年度つどいの写真）

日 時 平成22年10月30日（土）17時30分開会
場 所 東京 ライオン銀座クラシックホール



岩手中学・高等学校

東京石桜同窓会

事務局 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-5

（株）三田商店東京支店内 電話 03-3666-3366

担当者 宇土澤、下平

東京石桜同窓会のつどい 次第

第一部 講演会

司会 佐藤 忠男（新12回生）

瀬川 武 氏（新12回生）

第二部 総会・懇親会

司会 佐藤 忠男（新12回生）

開会の辞	前関 邦明	副会長（新23回生）
会長挨拶	菅野 幸	会 長（新13回生）
来賓挨拶	三田 義之	理事長
	村井 伸吾	校 長
	小枝指 博	石桜同窓会 会長（新9回生）

乾杯

懇談

来賓挨拶 和田健一郎 先生 川村 康二 先生

新会員紹介

校歌斉唱

万歳三唱

閉会の辞 牧原 順一 副会長（新26回生）

岩手中学・高等学校 校歌

作詞 土井晩翠
作曲 山田耕筰

- | | |
|---|---|
| 1、 旭日ににおう桜花
其芽大地の深きより
出て貫く花崗石
郷の名所青春の
意気をかたどるうれしさよ | 3、 大沢川原もとをおく
わが中学の同じ窓
希望の光身に浴びて
心ひとしくすこやかに
高き遠きにあこがるゝ |
| 2、 見よ金剛の不壊の念
神と祖国と人道の
三つに仕えて怠らず
日々につとめて光榮を
期する一団若き友 | 4、 無言のさとし朝夕に
七千尺の岩手山
北上川の八十里
友よ心の目にも見て
いざ向上の道踏まん |

活動報告

- 21年10月24日（土） 平成21年度27周年記念東京石桜同窓会のつどい
午後5時30分より 於 アカデミア市谷(私学会館)
参加者総数 46名（会員40名、来賓 6名）
- 22年04月16日（金） 常任理事会・実行委員会 午後6時30分 於: 榊三田商店東京支店
- 22年06月04日（金） 理事会・常任理事会 午後6時30分 於: 榊三田商店東京支店
- 22年08月27日（金） 常任理事会・実行委員会 午前11時30分 於: 榊三田商店東京支店
- 22年09月11日（土） 案内発送 午前11時30分 於: 榊三田商店東京支店
- 22年10月08日（金） 常任理事会・実行委員会 午後6時30分 於: 榊三田商店東京支店
- 22年10月20日（水） 常任理事会・実行委員会 午後6時30分 於: 榊三田商店東京支店
- 役員(案) (再任)
- 会 長 菅野 幸(新13回生)
- 副会長 前関 邦明(新23回生)、牧原 順一(新26回生)、松村 仁志(新51回生)
- 役員(案) (新任のみ)
- 監 事 藤倉 信夫(新18回生)
-

瀬川 武 氏

(元国立音楽大学教授)

日 時 平成22年10月30日(土) 午後5時30分より

瀬川 武(せがわ たけし)氏 Profile

昭和35年3月	岩手高等学校卒業(新制12回生)
昭和40年3月	国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業
昭和42年3月	国立音楽大学音楽専攻科声楽専攻修了
昭和43年4月	国立音楽大学副手
昭和47年5月	国立音楽大学助手
昭和52年4月	国立音楽大学専任講師
昭和63年4月	国立音楽大学助教授
平成9年4月	国立音楽大学教授
平成17年3月	国立音楽大学定年退職

演奏歴

- ・ 1976年 第1回リサイタルを開催
- ・ 二期会公演 オペラ「フィガロの結婚」「魔笛」「ボエーム」「カルメン」
- ・ 東京室内歌劇場公演 「賢い女」「ブルスキーノ君」「アルジェのイタリア女」
- ・ 創作オペラ協会公演 「虎月伝」 等に出演
- ・ 1980年より25年間に渡り 福生市心身障害者の為のチャリティーコンサートを行う。
- ・ 1986年 マーラー作曲「少年の不思議な角笛」ジョイントリサイタルを行う。
- ・ 1999年 盛岡に於いて コンサート、サロン第145回に出演。

同年9月 第5回リサイタルを行う。

現在 二期会会員

オペラ・アーツ公演のオペラに出演。

合唱指導、演奏活動、後進の指導等精力的に活動している。

ソプラニスタ岡本知高を始め多くの声楽家を育てる。

岩手中学・高等学校

第一応援歌

第二応援歌

第四応援歌

1. 栄ある冠^{かんり}勝ち得んと
 ふるいて立てり我が健児
 胸は高鳴り血は躍^{おど}る
 正しく強く戦わん

1. 見よ東北の新天地
 群雄^{ぐんゆう}覇をば競う時
 我れ立たずんば将誰^{はたし}か
 栄ある冠^{かんり}を得るものぞ
 いざ立て岩高^{いわたか}健男児

1. あゝ永劫の気に溢れ
 旺^{わん}んなるかな石桜は
 歴史ぞ薫る友愛の
 兄弟ここに集いたる
 この日を誰か仰がざる

2. あした朝日ののぼるごと
 校威^{がまね}普く輝かん
 夕^{ゆふ}空のはゆるごと
 覇^はをば唱えん高らかに

2. 若き血潮に八百の
 健児の胸は高鳴りつ
 打ち振る旗も高らかに
 雄叫ぶ姿君見ずや
 いざ立て岩高^{いわたか}健男児

2. 起て八百の健男児
 試練の時は今なるぞ
 生気の歌に轟ける
 天地は広し我らまた
 高き理想に進む者

ラグビー応援歌

3. 戦わんかな時至る
 あゝ剛健の意気に燃え
 必勝の色輝ける
 選手の姿勇ましや
 いざ立て岩高^{いわたか}健男児

3. あゝ永劫の天の下
 旺^{わん}んなるかな石桜は
 若き息吹の健児らが
 今を生命の躍動と
 進むを誰か阻むらむ

日々三綱^{さんかう}を銘記して
 鍛えたり精神^{こんしん}と技能^{ぎぎ}
 石桜の強きラグーには
 必勝の誓い堅し
 いざ征け いざ征けよ
 堂々の技能^{ぎぎ}を示し
 猛^{たけ}き精神^{こんしん}一にして
 ツララ ブラックイエロー
 ツララララ ツララララ
 ツララ岩高 岩高ツラララ